

S/F REAL4

Q&A

【ブレース】

 あいホールディングスグループ 

株式会社 **ドットウェル** ビー・エム・エス

DATA LOGIC

継手マスターのブレースシートすきまはどこを示している？ 一番近い鋼材とのすきまです。

継手データ SRC組み合わせ継手

継手名	部材種類	継手種類	サイズ	材質	組合せ	メモ	継手基準へ
BJ20	小梁	ガゼット	H - 200x100x5.5x8	SS400	[作図する
BJ15	小梁	ガゼット	H - 150x75x5x7	SS400	[作図する
VJ1	ブレース	製製品シート	FB B - 16	SNR400B	[作図する
VJ2	ブレース	ブレースシート	L - 75x75x6	SS400	[作図する
VJK1	ブレース	亀の甲	L - 75x75x6	SS400	[作図する
BJ40	大梁	ガゼット	H - 400x200x8x13	SS400	[作図する

継手名 VJ2 管理名

継手基準への作図 1 - する

部材種類 6 - ブレース 継手種類 1 - ブレースシート

子部材 親部材

材質	4 - L形鋼
サイズ	75x75x6
材質	1 - SS400
部材中心	40
鋼材組み合わせ	1 - [

一般 ブレース

板材質	自部材と同材質
すきま	20
ボルト径	16
ボルト本数(横)	3
ボルト本数(縦)	1

FLG/WEB 板情報 枚数

WEB GFL-9

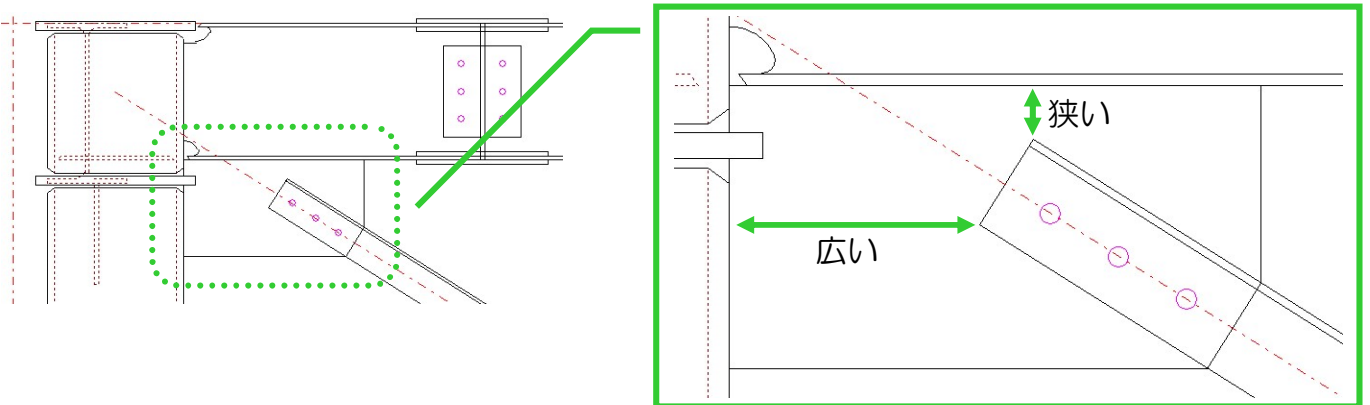
継手マスターで指定したすきまは、ブレース入力・修正時に調整できます。

ブレース - 修正 [244]

フィルター詳細設定 設定

全選択 全解除 入れ替え

項目名	設定値
左側	
<input type="checkbox"/> 継手(左)	(VJ2)マスター参照
<input type="checkbox"/> ずれ量X	0
<input type="checkbox"/> ずれ量Y	0
<input type="checkbox"/> 端部処理の種類	1 - すきま
<input checked="" type="checkbox"/> すきま	(20)マスター参照
<input type="checkbox"/> 付与名	【付与管理】



ブレースすきま『20』で配置しているのに、計測すると小数値になる・指定したすきまぴったりにならない場合、
【作図パラメーター】 - データ作成 - 36.ブレース・方杖作成関連 - 1) 長さ補正 を『1-なし』にしてください。
『1-なし』以外の場合はブレース長さを補正するためにすきまの値が変わります。

工事別パラメーター: 36.ブレース・方杖作成関連

項目名称	設定値
1) 長さ補正	2 - 四捨五入
2) 長さ四捨五入時小數桁数	1 - なし
3) 長さ短縮時の數値指定 (mm)	2 - 四捨五入
4) 形鋼短縮時の數値指定 (mm)	3 - 短縮(形鋼のみ)
5) 形鋼短縮時の長さ補正	1 - なし
6) 丸鋼ブレース集約条件	1 - 中間(±)
7) 丸鋼ブレース集約時の許容範囲 (mm)	10
8) 亀の甲のすきま	2 - 左右対称
9) 剛ブレースが柱ウェブ側に接続するブラケットウェブ	1 - 通常
9) 剛ブレーススチフナー板の増厚	板厚内で1サイズアップ

ブレース長さの補正方法を選択します。

1.なし

ブレース部材長さ	4496.25
4880.82	
215.29	4496.25
169.28	

2.四捨五入

ブレース部材長さ	4496.25
ブレース部材長さ	4496.25
2)長さ四捨五入時小數桁数	1
4880.8	
215.3	4496.3
169.3	

3.短縮(形鋼のみ)

ブレース部材長さ	4496.25
ブレース部材長さ	4496.25
3)長さ短縮時の數値指定	10
4880.8	
218.4	4490
172.4	



既製品ブレースの共通読込ができない

CDからファイルをコピーできます。



ブレースマスターのファイルが破損している可能性があります。

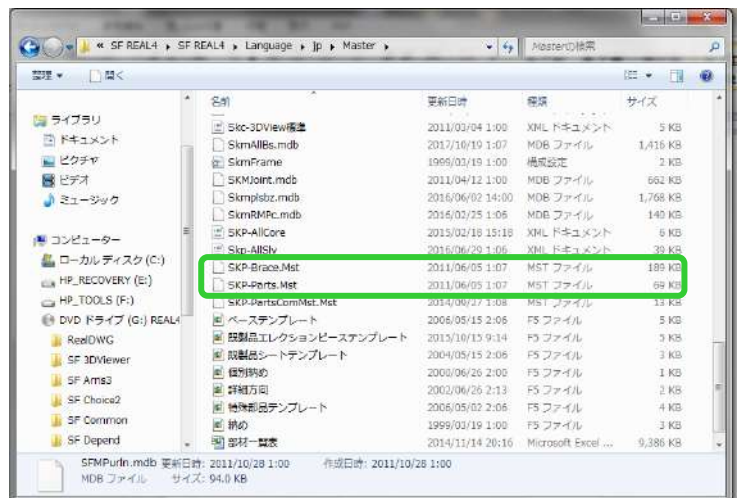
REAL4 のインストール CD をパソコンに入れてドライブを右クリックします。

【開く】を選択してCDの中身を表示します。

CDの中の **SF REAL4¥SF REAL4¥Language¥jp¥Master** の中に以下の二つのファイルがあります。

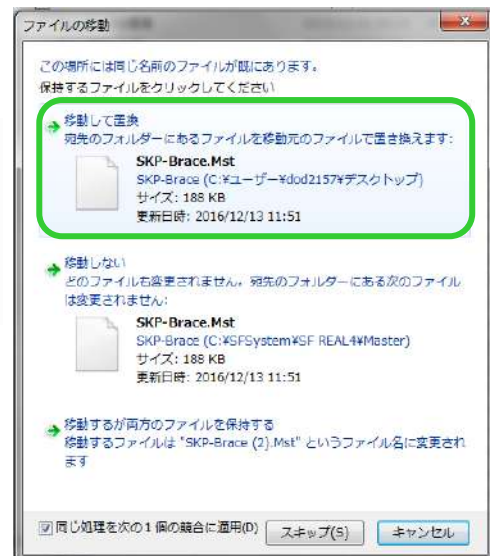
SKP-Brace.Mst

SKP-Parts.Mst



二つのファイルを REAL4 のインストールしてあるドライブの **SFSystem¥SF REAL4¥Master** 上に書き保存をしてください。

ファイル名	更新日時	種類	サイズ
Skp-AllSlv.mdb	2014/05/30 1:03	MDB ファイル	480 KB
Skp-AllSlv	2016/06/29 1:06	XML ドキュメント	39 KB
SKP-Base.Mst	2016/12/13 11:51	MST ファイル	1 KB
SKP-Brace.Mst	2016/12/13 11:51	MST ファイル	189 KB
SKP-Parts.Mst	2016/12/13 11:51	MST ファイル	69 KB
SKP-PartsComMst.Mst	2016/12/13 11:51	MST ファイル	11 KB





既製品ブレースの材種表記名を変更したい！

スタイルマスターにて変更が可能です。

2SL階 小梁部材リスト

小梁名	部 材	継 手	備 考
B20	H-200x100x5.5x8		(SS400)
B25	H-250x125x6x9		(SS400)
B30	H-300x150x6.5x9	BJ30	(SS400)
b10	F-100x50x5x7.5	bJ10	(SS400)
V1	FB. B-20	VJ20	(SNR400B)
V2	FB. B-16	VJ16	(SNR400B)



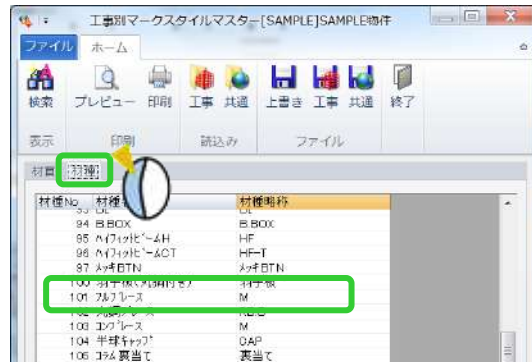
2SL階 小梁部材リスト

小梁名	部 材	継 手	備 考
B20	H-200x100x5.5x8		(SS400)
B25	H-250x125x6x9		(SS400)
B30	H-300x150x6.5x9	BJ30	(SS400)
b10	F-100x50x5x7.5	bJ10	(SS400)
V1	M-20	VJ20	(SNR400B)
V2	M-16	VJ16	(SNR400B)

【SF システムメニュー】 - 【スタイルマスター】をクリックします。

【材種】を選択し、使用されているブレースの材種 CD の材種略称を変更します。

例) 材種 CD : 101 フルブレース FB.B → M



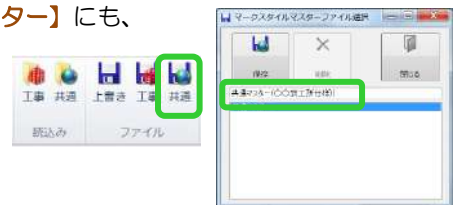
【工事別マークスタイルマスター】に保存し、再度梁伏図を作図すると、変更内容が反映されます。



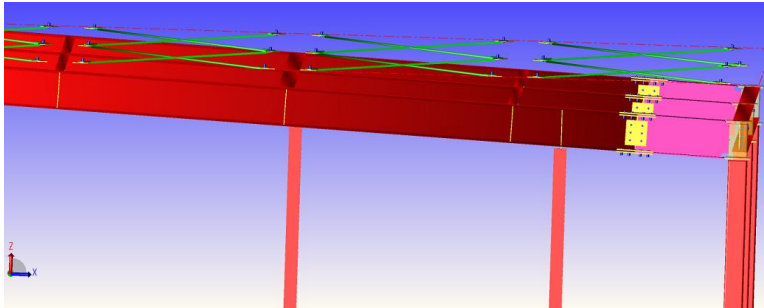
他の工事でも、同じ設定にしたい場合は、【共通マークスタイルマスター】にも、名前を付けて保存してください。

※既に作成している工事に反映させたい場合は、共通マスターを読み込み、工事マスターへ保存してください。

※新規工事を作成する際の初期値にしたい場合は、**【新規工事作成】** → **【工事管理オプション】** より初期値として読み込む各マスタやパラメータが選択できます。

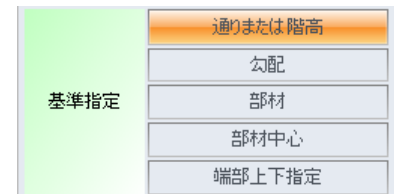


ブレースが宙に浮いてしまう！ 高さ基準修正で変更できます。



ブレース入力時、『基準指定』を確認して入力してください。入力時に選択した基準で高さや奥行きが決定します。

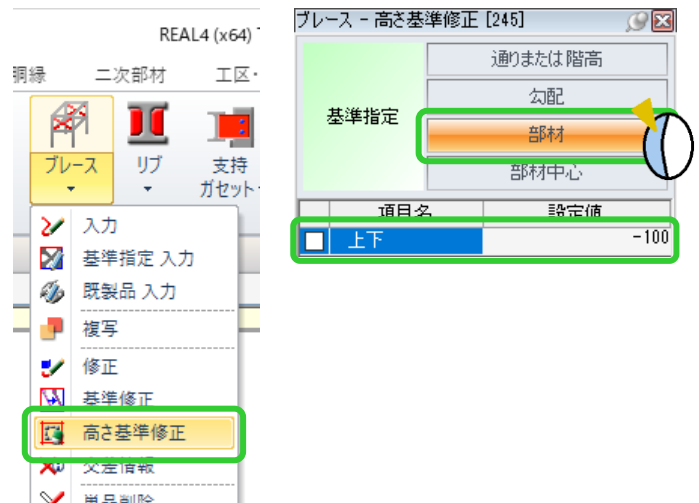
『端部上下指定』は、【ブレース】 - 【既製品入力】の場合のみ選択可能です。



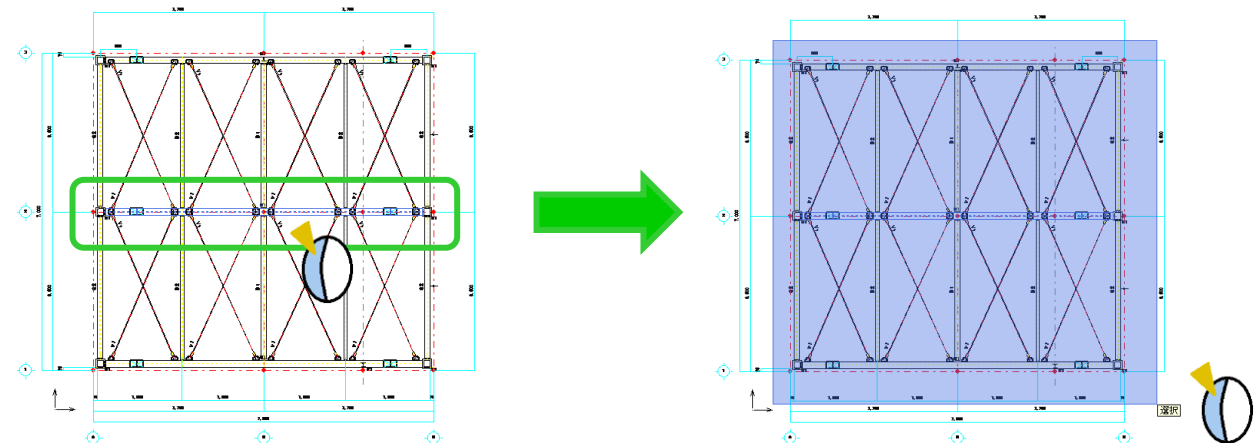
【本体】 - 【ブレース】 - 【高さ基準修正】をクリックします。

ブレース高さの基準としたいものを基準指定で選択し、基準からの上下値を入力します。

例) 大梁天から-100 下がりにしたい




ブレース高さの基準になる大梁をクリックし、ブレースを右ドラッグで範囲選択して四隅の☑をクリックします。



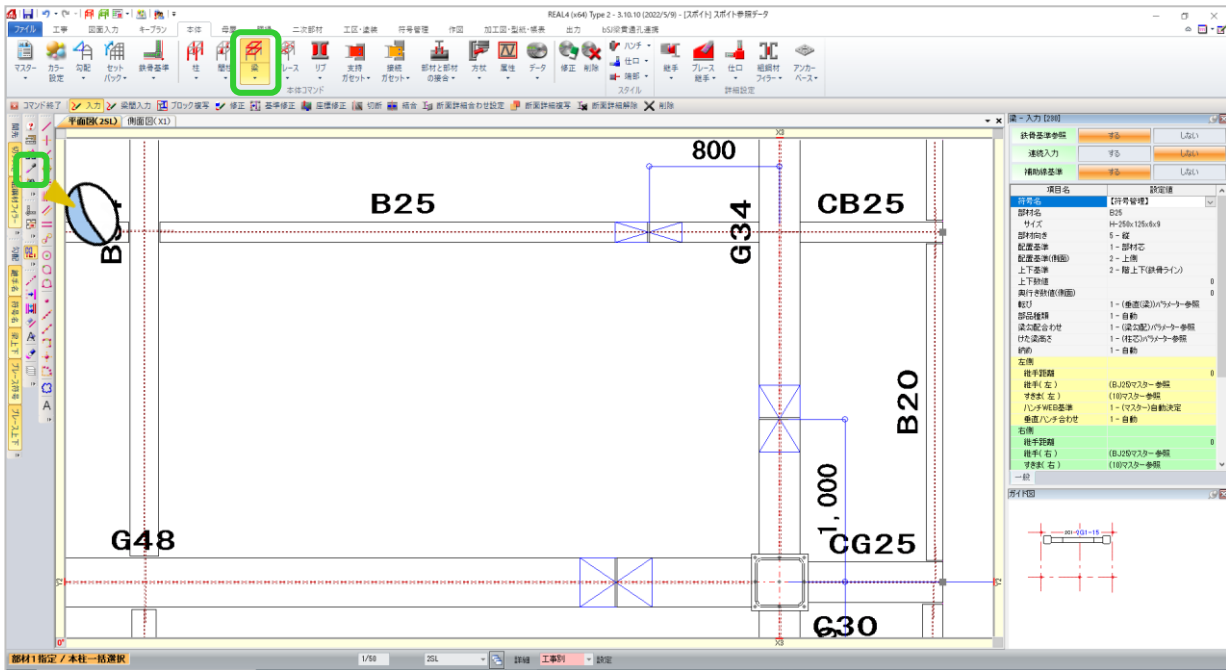
すでに配置している部材と同じ条件で入力したい！

スポイトにて配置済みの部材入力条件を取得できます。

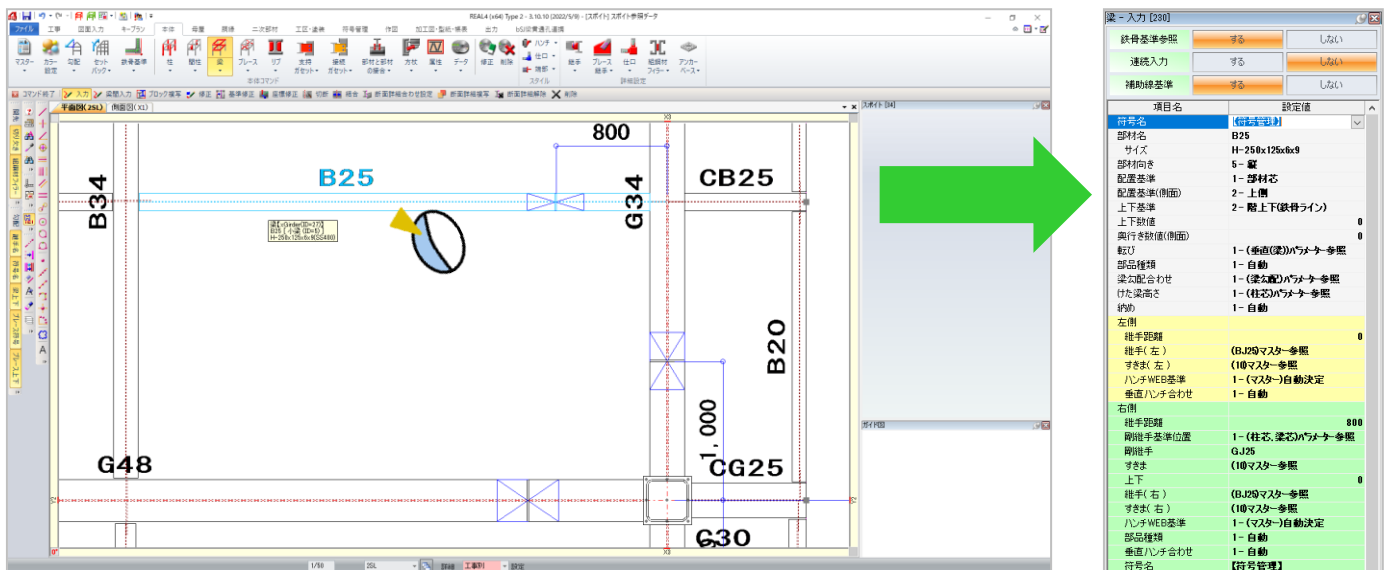
配置する部材を入力するコマンドを起動した状態で、画面左側のツールバーより【スポイト】 をクリックし、データを取得したい配置済みの部材を選択することで入力内容や条件等を読み込むことができます。

例) 配置している梁と同じ条件の梁を、別の位置に配置したい。

【梁】 - 【入力】 をクリックしてから、【スポイト】 をクリックします。



配置済みの梁をクリックすると、入力項目に設定されている内容を読み込まれ、同じ条件で梁の配置ができます。柱・間柱・ブレース等もスポイトを使用し同じ条件の部材が配置できます。

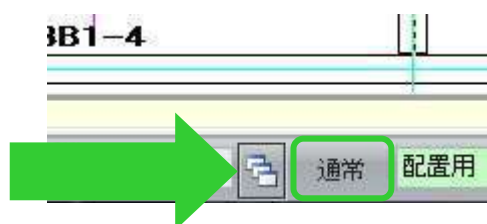
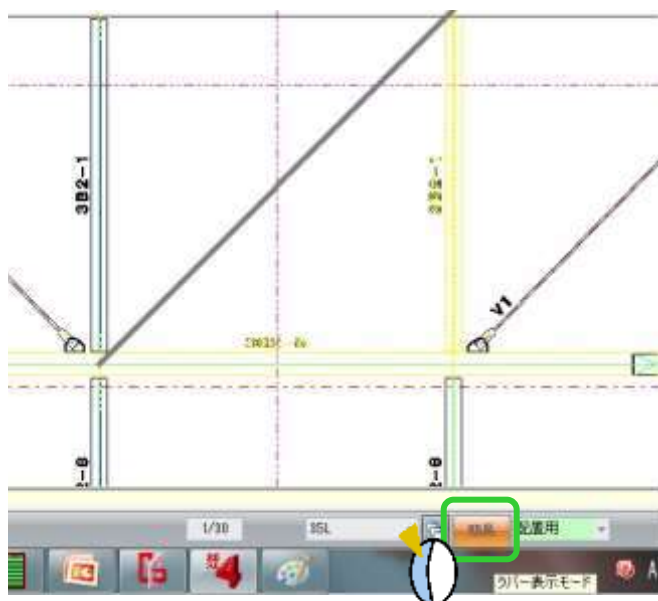
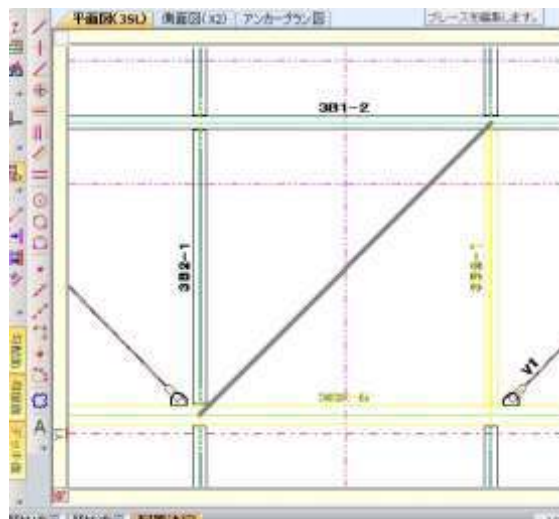




ブレース入力時、ラバーが太い線で表示される 簡易モードになっていませんか？

ラバー表示モードに、【通常】と【簡易】があります。

画面の中央下の【簡易】の文字をクリックして【通常】にしてください。



側面入力の時に出てくる【通常】表示は
視点の切り替えです。

通常…通常視野

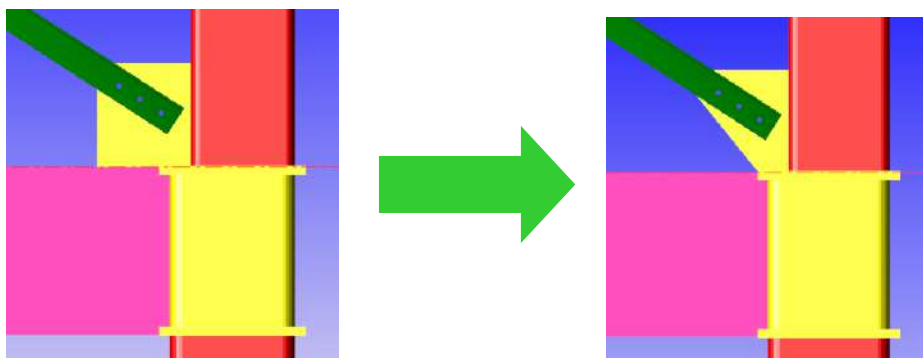
反転…反転視野





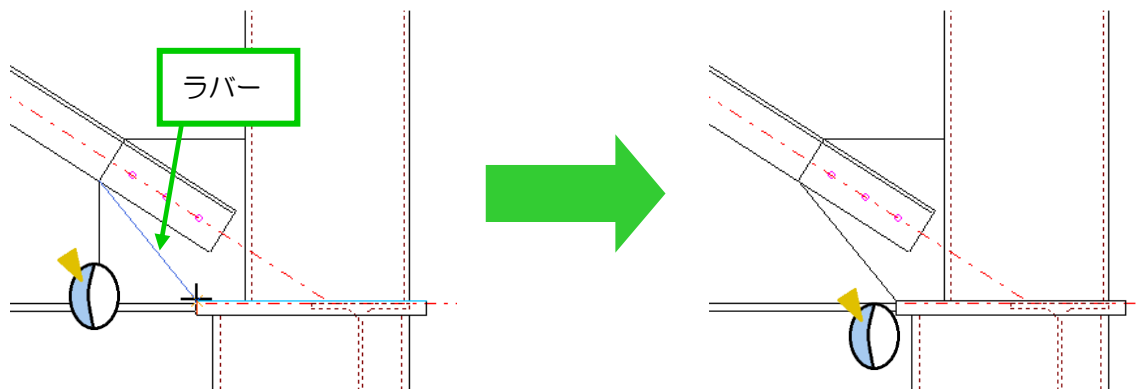
ブレースシートの形状を変更したい！

ブレース継手・ブレースシート角度修正で出来ます。



【本体】 - 【ブレース継手】 - 【ブレースシート角度修正】 をクリックします。

シート角度を変更したい側の外形線をクリックするとラバーを表示するので、位置を決めてクリックします。

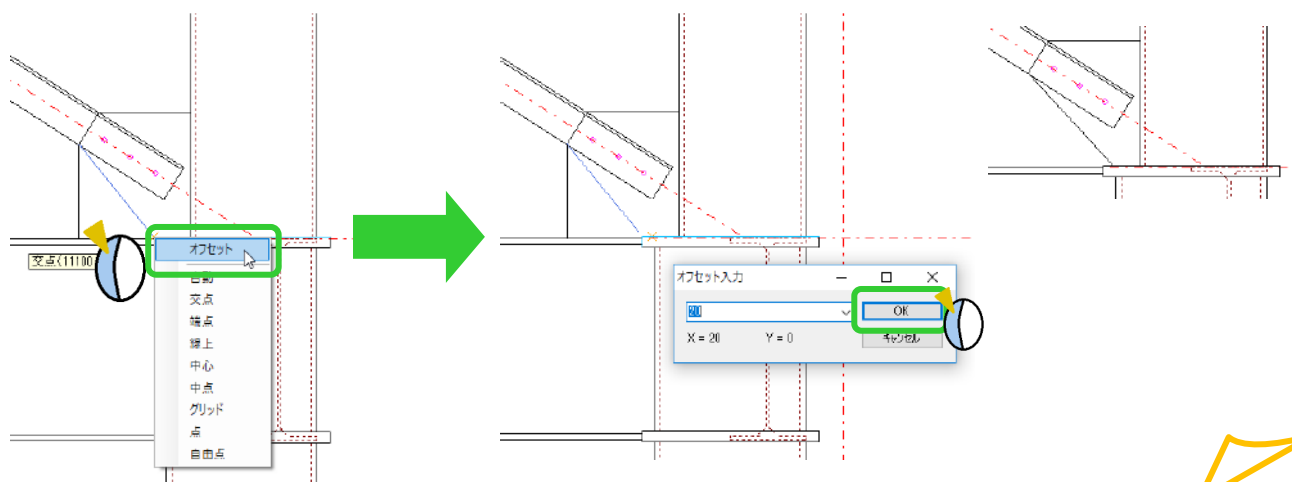


基準となるポイントから数値入力でシート角度を変更したい場合、基準となるポイントでマウスの左ボタンを長押しし、**オフセット**をクリックします。数値を入力して移動させたい方向のキーボードの矢印キーを押して **OK** してください。

例) ダイア面から 20 mm 内側に修正したい

①ダイア天の角でマウス左ボタン長押し

②オフセット 20 と入力し→キーを 1 回押して **OK**

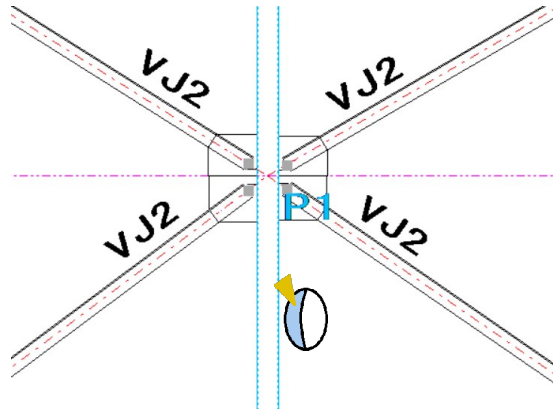




4枚のブレースシートを1枚にしたい！

ブレース継手・亀の甲一体化でできます。

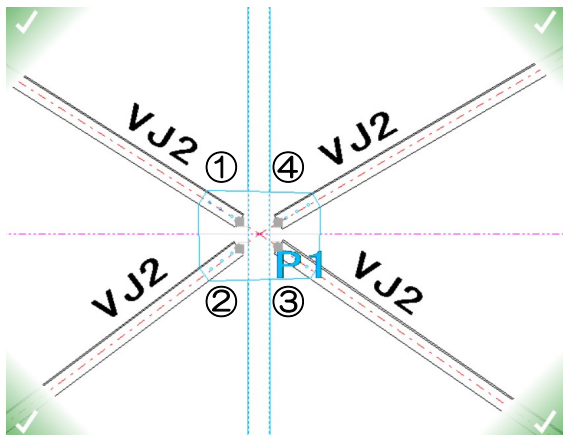
【ブレース】 - 【亀の甲一体化（通し部材あり）】をクリックし、通し部材をクリックします。



一体化したいブレースシート①～④をクリックし、四隅の☑ボタンをクリックします。

入力シートの【通し左側長さ】と【通し右側長さ】を『指定なし』に変更すると、

ブレースからのポイントをつないだシート形状になります。



項目名	設定値
角の甲	マスター参照
通し左側長さ	指定なし
通し右側長さ	指定なし
耳幅 左	ブレース参照
耳幅 右	ブレース参照
すきま処理	1 - (左右対称)パラメーター参照



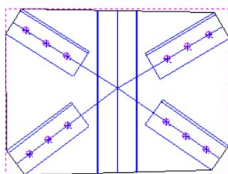
【亀の甲一体化（通し部材あり）】と【亀の甲一体化（通し部材なし）】の違い

通し部材と接続がある場合は【亀の甲一体化（通し部材あり）】、

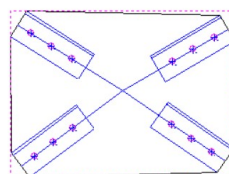
通し部材がない場合は【亀の甲一体化（通し部材なし）】を使用して一体化を行います。

【亀の甲一体化（通し部材あり）】で一体化すると、ブレースシート型紙に通し部材を表示します。

通し部材あり



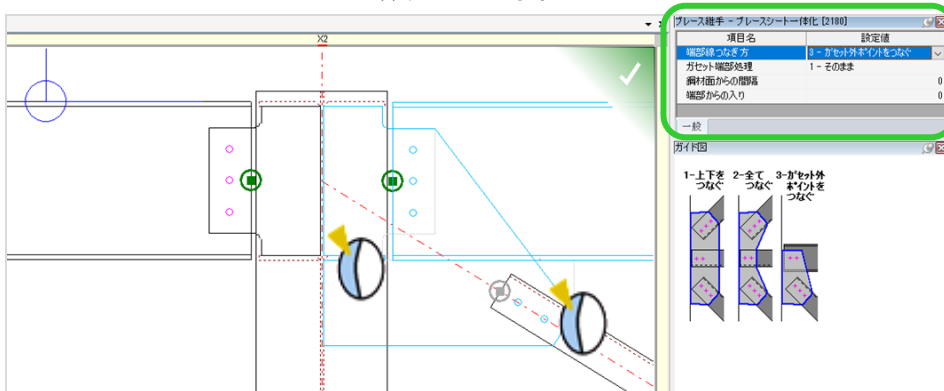
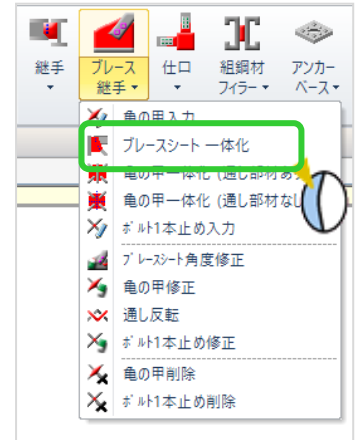
通し部材なし



🔑 ? ブレースシートとガゼットを一体化したい！ ブレーシートの一体化より可能です。

【本体】 - 【ブレース継手】 - 【ブレーシート一体化】 をクリックします。

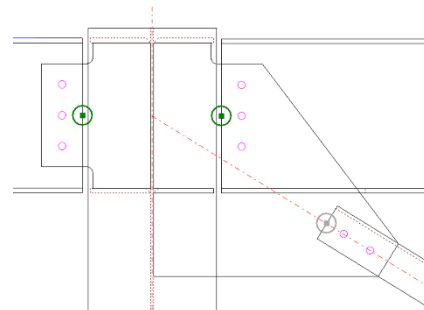
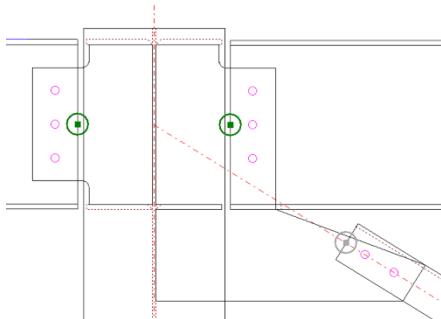
一体化したいブレーシートの図とガゼットの図をクリックします。
選択後、四隅の☑ をクリックして確定すると
ブレーシートとガゼットが一体化されます。



右側の入力シート項目より形状を選択

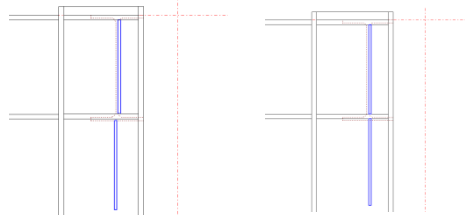
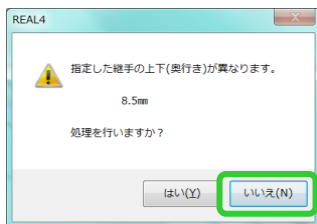
例 1) 端部線つなぎ方：1-上下をつなぐ
ガゼット端部処理：2-鋼材面まで伸ばす

例 2) 端部線つなぎ方：3-ガゼット外ポイントをつなぐ

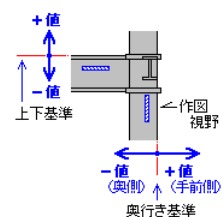


一体化する際に以下のメッセージが表示される場合は、ブレーシートとガゼットの奥行きがずれています。「いいえ」をクリックして【ブレース】 - 【修正】 よりブレースの奥行きを合わせてから、再度一体化を行ってください。

奥行きがずれている状態で「はい」をクリックすると一体化する側のシートの奥行きは合わせますが、ブレースの位置及び、反対側の端部のシート位置は修正されません。



項目名	設定値
符号名	【符号管理】
部材名	RB1
サイズ	1-75x75x6
奥行き	8.5
部材向き	1 - 縦上左



※奥行きに入力する数値は、ブレース入力時に奥行基準に指定している

「部材芯」や「部材面」からガゼット位置までの距離になります。

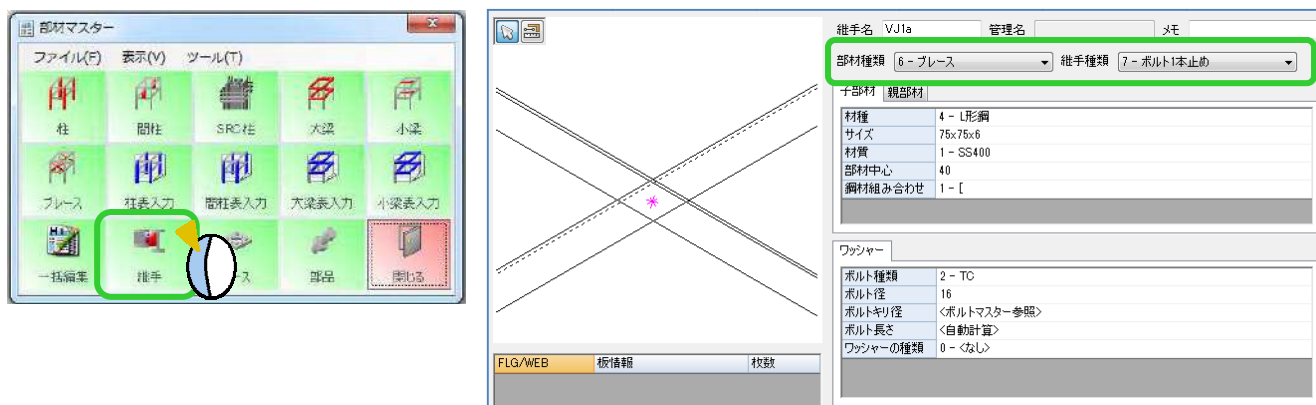
※ガゼットとブレーシートの板厚が異なる場合は、厚い方の板厚が採用されます。

×ブレースをボルトで止めたい！

継手マスターにボルト1本止めを登録します。

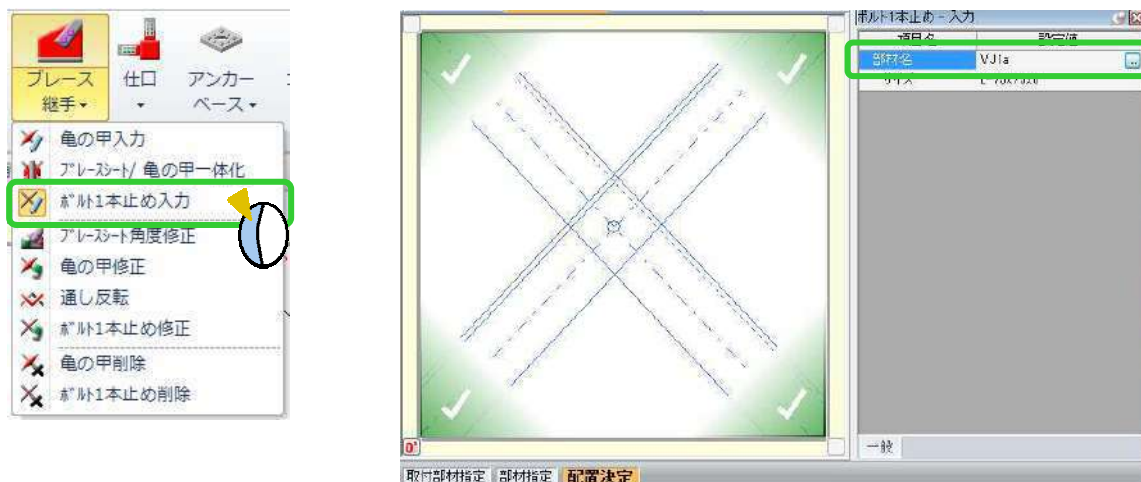
【マスター入力】 - 【継手】をクリックします。

【部材種類】を【6-ブレース】に、【継手種類】を【7-ボルト1本止め】にして
ボルト種類・径などを設定し、登録します。

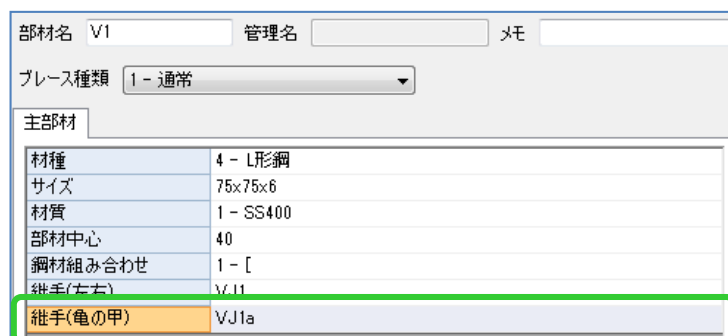


【ブレース継手】 - 【ボルト1本止め入力】をクリックします。

部材名に登録した継手を選択後、ボルト1本止めしたい×ブレースを指定し、四隅の決定ボタンをクリックします。



ブレースマスタの継手（亀の甲）に継手登録したボルト1本止めを指定しておく
×ブレース配置時にボルト1本止めとなります。





剛ブレースのspraysが出てこない！

ブレースマスターのブレース種類で「2-左端-中央-右端」または「3-端部-中央」を選択してください。

【マスター】 - 【ブレース】 をクリックします。
ブレース種類で「2-左端-中央-右端」または「3-端部-中央」を選択。
継手(中)へ継手名を入力します。
端部材のタブに切替え、シートリブの情報を入力して部材を登録してください。

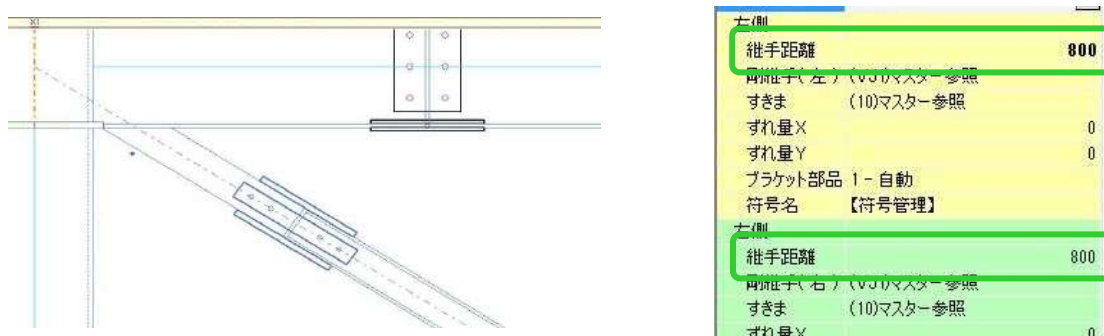
主部材	端部材
材種	2 - H形鋼
サイズ	100x100x6x3
材質	1 - SS400
継手(中)	VJI



継手マスターでは、継手種類を「2-sprays」で登録してください。

子部材	親部材
材種	2 - H形鋼
サイズ	100x100x6x3
材質	1 - SS400

【ブレース】 - 【入力】 または 【基準指定入力】 をクリックしてブレースを入力します。
継手距離を設定すると、剛ブレースでspraysを入力することができます。



ブレース種類「2-左端-中央-右端」を選択すると左部材・右部材のタブに分かれ、それぞれにシートリブの情報を登録することができます。